ミャンマー国　日本の図書館支援ノウハウを活かした「課題解決型」子供図書館モデル構築のための案件化調査

株式会社　図書館流通センター（東京都）

対象国における課題

- 現政府は図書館振興を掲げるが、図書館づくり・運営ノウハウや人材が失われ、担える主体が存在しない。
- 暗記偏重型の教育が中心であり、自ら考える力の育みや読書の喜びに触れる機会が不足している。

提案製品・技術

- 各地域のニーズに応える図書館づくり（ライブラリアン育成を含む）
- 啓発・アウトリーチ事業（読み聞かせ、ワークショップ、移動図書館等）
- 電子化技術、情報整理・編集技術の現地化

本事業の内容

- 契約期間：2019年4月～2020年6月
- 対象エリア：ミャンマー国（ヤンゴン市）
- 案件概要：ヤンゴン市内の新国立図書館において、日本における図書館支援の経験・ノウハウを活かした「課題解決型」子供図書館モデルをパイロット事業を通じて構築し、開発効果の検証及び横展開するビジネスモデルの策定を行うもの。

課題解決型図書館

実現を目指すビジネスモデル

- 「課題解決型」子供図書館モデルの構築と展開の為に、2020年に開館予定の新国立図書館内にて、子供図書館の共同企画・運営を行う。
- 日緬国PPP事業として鹿島建設株式会社が施工し、2020年にプレオープン予定の複合施設内における子供図書館の企画・運営。

ビジネス展開による対象国における課題への貢献

- 日本での図書館支援・運営を通じて培ってきたノウハウや技術を通じて、子供達が地域課題に関する知識と考える力を習得できるようになる。
- 現地に合わせた図書館企画・運営サービスの提供することで、子供達が質の高い図書館にアクセスできるようになる。

2019年3月現在